

共同研デモセミナーのお知らせ

『ゲノム編集研究における定量へのアプローチ』

～エレクトロポレーターを用いた細胞作製と
デジタルPCRを用いた遺伝子定量のイノベーション～**日時** 平成29年5月26日(金) 15:00～16:00**会場** 共同研究棟7階 セミナー・会議室 (D71-09)**内容** ゲノム編集研究における最新技術の紹介**装置** エレクトロポレーター:Gene Pulser XcellデジタルPCR:QX200 Droplet Digital PCR システム
(バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社)

Gene Pulser Xcell

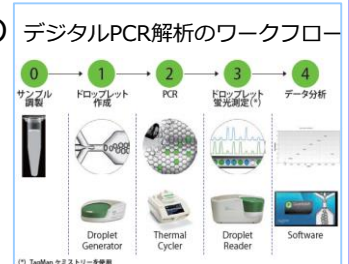
昨年、共同研にゲノム編集センターが設立され、大阪大学におけるゲノム編集研究はますます活動的になっております。

TALENやCRISPRといったゲノム編集技術は、疾患の原因として変異の修復による再生医療への応用や、遺伝的背景が同一の疾患モデルとなる細胞の作製に大きく寄与しています。

従来、一般的な遺伝子解析・定量では、リアルタイムPCRが広く用いられてきましたが、近年、「**デジタルPCR**」技術が開発され、従来に比べて飛躍的に**高精度・高感度のデータ**を得られるようになりました。

本セミナーでは、バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社のご協力のもと、ゲノム編集技術についてご紹介いたします。

- (1) 細胞の種類による様々な導入技術法
- (2) デジタルPCR法でのゲノム編集研究へのアプローチ
- (3) その他分野での応用例



デジタルPCRについてご存じない方から、ご自身の最新研究への応用をご検討の方まで、幅広くご紹介させて頂く予定ですので、是非お気軽にご参加下さい。